

## 授業改善等に関する報告書（2019年度前期）

## 授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2019（前期）国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
漢文学基礎講読 a	田中 靖彦	多くのご意見・ご感想、ありがとうございます。学力の向上を実感できた方、授業を楽しんでいた方が多く、大変嬉しく思います。授業中の挙手による発言には様々なご意見をいただきました。いただいた様ご意見は、今後の授業に反映させていただきます。
中古文学史 a	横井 孝	月曜1限という、交通アクセスのトラブルの影響を受けやすい時間帯であるにも関わらず、学生諸君はよく参加してくれた。単位レポートについても「ユニークなテーマを」という授業者の注文に対して、奇をてらわず容貌に応えてくれたと思う。
漢字書法 1	亀田 絵里香	基本点画はとても大切です。 全員が、自身の上達を実感してくれたことが嬉しいです。
近代現代文学演習 f 1	河野 龍也	卒業論文の執筆に向けて、本当の実力がつくように課題設定した授業なので、準備も大変だったと思います。 対象作品の長さにはばらつきがありましたので、長い場合の負担を考慮して評価しました。後期はあまり差が大きくなるようにと思います。授業の始めに説明しましたが、一人で全部の調査を行うことに意味がありますので、グループでの分担はせず、後期も前期と同様の方法で行います。
特殊演習 1	田中 靖彦	ご意見・ご感想、ありがとうございます。卒論完成に向け、がんばりましょう。
書学概論	亀田 絵里香	限られた時間の中で、基礎に時間をかけ、履歴書や手紙の書き方まで盛りだくさんの授業でした。文字は一生書くものです。今回の授業をきっかけに「きれいに書こう」よりも「ていねいに書こう」という気持ちを、持ち続けて欲しいです。
国語学概論 a	三好 伸芳	本科目は「日本語および言語一般に対する基礎的な知識を身につける」ことを目標とし、身近な言葉を取り上げながら分かりやすく言語学的な知識を教授するよう努めた。集計結果には、国語学（言語学）に対する理解が深まったというコメントが見受けられ、本科目の目標に照らし、一定の成果が得られたと考える。一方、試験のレギュレーションに関し、他の必修科目との相違を指摘する意見もあった。この点については、教員間での連携を図るなどして今後改善することとしたい。
特殊演習 1	池田 三枝子	75%が週あたり2時間以上の事前事後学修をしているのは、とても喜ばしいことだと思います。成長が実感できたか否かはおそらく卒論の進捗度によるのですが、資料を集めた端から少しずつ書き進められるテーマと、多くの資料を集めて分析してから書けるテーマとがありますので、後期の特殊演習2では、全員が卒論を書き終えて成長を実感できることと思います。
国文学概論 a	棚田 輝嘉	授業評価、有難うございます。 例年、シラバスの内容との一致、進むスピードについて、やや評価が低いのが、反省点となっています。 予定通りに進めたいという気持ちと、皆さんの反応を見ながら、適宜内容を調整する、ということの板挟みの中で、講義内容を所々変更している、というのが現状です。 始めから、完璧な授業内容・進度になるべく、本年度の内容・評価を踏まえ、より良いものにしていこうと思います。
国語学概論 a	湯浅 茂雄	まずまずの評価をいただきましたが、説明の分かりやすさにはまだ工夫が必要なようです。後期にさらに頑張りますのでよろしくをお願いします。
特殊演習 1	棚田 輝嘉	評価がありませんでしたので、特に回答はいたしません。 後期も頑張ります。
近代文学基礎講読 a	河野 龍也	樋口一葉は、教員も学生・生徒も難しい作家だと思っていて敬遠されがちですが、同世代の女性の文学として、日記や小説の世界に共感を覚えて入り込んでくれたのを嬉しく思います。難しく見えるものでも、面白さを見つければ親しんで糧にすることができます。今後もぜひ挑戦を続けてください。
国語学演習 d 1	福嶋 健伸	「卒論と就活はとても不安の種だったため、今すべきことを知ることができて心の事前準備ができた。」「実際の論文を用いての授業など、今後の卒論に活かせるような学習内容でよかったです。また就活についても触れていたことで、就職意識も高まった気がします。」「就職活動や卒業論文における調査について3年生の時から学ぶことができたためこれからの活動の助けがせると感じた。」等肯定的なコメントばかりであり、授業はうまくいったと思う。履修人数が多く、PC演習室が使用できない点が改善点ともいえるが、教室の大きさという物理的な制約があるので、改善は難しいといえる。

[2019（前期）国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
国語学演習 c 1	湯浅 茂雄	専門の演習ということもあるでしょうが、説明の分かりやすさにさらに努力が必要なようです。工夫して後期に臨みます。
中国文学哲学演習 d 1	田中 靖彦	ご意見・ご感想、ありがとうございます。おおむね御好評をいただいたようで嬉しく思います。後期もよろしく願います。
特殊演習 1	横井 孝	前期は、テーマの再確認と研究方法の模索、先行研究の検索、と作業が多かった。就職活動も並行しながら、合宿に対する準備も積極的であり、授業者の期待に応えてくれた。
漢文学基礎講読 a	田中 靖彦	多くのご意見・ご感想、ありがとうございます。学力の向上を実感できた方、授業を楽しんでいた方が多く、大変嬉しく思います。挙手による発言については色々ご意見をいただきました。後期の授業に反映させていきたいと思ひます。また、授業で扱うテキストについては、難しいという意見と、簡単だという意見の両方をいただきました。可能な限り、両方のご意見に対応していきたいと思ひます。
国語学研究 e	吉田 雅子	アンケートへの回答ありがとうございます。ご意見を今後の授業運営の参考にしたいと思ひます。皆さんも、この授業で学んだことをご自分の専門にいかして行ってください。
日本語文法論 a	福嶋 健伸	「古典文法は分かりづらいことが多くあまり好きではなかったのですが、先生のお話が、面白く前向きに授業を受けることができました。」「古典文法は苦手で、授業についていけないかとても不安でしたが、授業を受けて古典文法に対する苦手意識をなくすることができました。」「古典文法の基礎的な知識だけでなく、文法にある背景を学ぶことができ、古典文法の理解が深まりました。」「私はもともと古典文法に興味があったのですが、福嶋先生の日本語文法論の授業を受けて、さらに古典文法について学ぶ意欲が増しました。文法にある背景を知ることで理解が深まり、古典文法はやはり面白いなと思ひました。後期も履修したいと思ひます。」等の肯定的なコメントがほとんどであり、授業はうまくいったと思う。改善点に関するコメントもなかったため、今後もこのまま授業を進めたいと思う。
中世近世文学演習 f 1	佐藤 悟	特にコメントはありません。
特殊演習 1	湯浅 茂雄	回答してもらった皆さんからはとても良い評価をいただきましたが、回答者が少ないのでなんともいえません。後期も私も努力しますので、よろしく願ひます。
漢文学基礎講読 a	田中 靖彦	多くのご意見・ご感想、ありがとうございます。学力の向上を実感できた方、漢文の苦手意識を克服できた方、授業を楽しんでいた方が多く、大変嬉しく思ひます。授業内で挙手による発言をしていただく方法についても、おおむね御好評をいただきました。その他、いただいた様々なご意見は、後期の授業に反映させていきたいと思ひます。
近現代文学史 a	河野 龍也	トレーニングシートは、ただ答えをチェックするだけでなく、問いの立て方や別解の可能性も考えて学ぶと、力になるはずです。近代文学に興味がある学生には、卒業論文のテーマを選ぶ際にも参考になると思ひますので、色々な作品に触れ、ポイントをしっかりと覚えておいてください。解答添削の時間が短かすぎる場合もありましたので、長くとれるようにします。
近代現代文学演習 d 1	ブルナ, ルカーシュ	授業アンケートに関する説明を授業でしなかったためか、回答率が低いです。今回は、授業中にアンケートに回答することを忘れないようにと学生に声をかけます。
特殊演習 1	佐藤 悟	特にコメントはありません。
日本文学史 a	佐藤 悟	特にコメントはありません。
上代中古文学演習 e 1	横井 孝	膨大な資料と格闘した上で、プレゼンテーションの能力を磨くというのが前期の目標であった。受講者がかろうじ二桁という状態で、意欲に影がささないか心配な点があったが、要求を満たした。ために、成績で甲乙をつけられなかった。
特殊演習 1	ブルナ, ルカーシュ	授業アンケートに関する説明を授業でしなかったため、学生が授業アンケートに回答しなくてもいいと勘違いしたのでしょうか。今回は、アンケートに回答することを忘れないようにと学生に声をかけます。

[2019（前期）国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
特殊演習 1	河野 龍也	就職活動が忙しく、気持ちにも余裕のない中での卒論執筆になりますが、少しずつ積み重ねていけば、不安を減らして行けます。後期は自分のペースを見直して、努力した実感が財産になり、思い出に残るような取り組みを期待しています。
国語学概論 a	福嶋 健伸	「授業が参加型だったので、楽しく受けることができました。」「自分の考えをちゃんと言えらる・書けるようになった。」「個人的には一番とっていいほど好きな授業でした。先生の絶妙な絵が面白かったです。授業から気になった本や映画をみてその他の授業にいかせて良かったです。」「まだ半年しか受けてないですが1番楽しい講義です。1限はきつけどその分楽しいので頑張れます後期もよろしくお願ひします。」等の肯定的なコメントばかりであり、授業はうまくいったと思う。改善点としても、「パワーポイントの進むスピードも合わせてくださるのでとてもゆっくりでメモも取りやすいですし、分かり易かったです。個人的に授業内容がとても好きで毎週楽しみの授業でした。興味のある内容ばかりなので後期ではまた更に関心を深められたらいいなと思っています。」等の指摘があるばかりなので、このまま授業を進めたいと思う。
国文学概論 a	佐藤 悟	特にコメントはありません。
近現代文学基礎演習 1	河野 龍也	実践ならではの資料を使った演習を楽しんでくれた学生が多く、大変に嬉しく思います。扱っている内容は研究の最前線で、授業のための授業ではなく、研究に直結している所が、私にもやり甲斐があり、楽しみでした。
Japanese Culture	ブルナ, ルカーシュ	シラバスに記されている内容を残念ながら全部授業で終わらせることができませんでした。次回回は、シラバスに記されている通り、授業を進めていきたいと思っています。
国語史 a	福嶋 健伸	「この授業がきっかけで、電車内の広告や掲示板など日頃から文字表記に興味を持つようになった。」「普段発している言葉の背景にあるものを深く学べたと思う。」「日本語についての理解が深まった。授業の内容以外にももっと日本語について勉強したいと思った。」等の肯定的なコメントがほとんどであり、授業はうまくいったと思う。改善点として、「（ノートをとらずにすむので）パワーポイントの資料がほしい」という指摘があったが、本授業では、ノートやメモをきちんととることができる、ということも、教育上重要であると考えているので、このまま授業を進めたいと思う。
近代現代文学演習 d 1	大島 丈志	満足度に関してはより多くの学生にとって効果的な学習を、また学生自身の成長に繋がる学びを考えていきたい。
仮名書法 1	伊藤 文生	例年と特に変わったことは無く、概ねまじめに取り組んでいたと言える。授業最終回に記入提出していただいた受講生各自の自己評価および感想を見ると、およそ以下のとおり。 「最初の授業の時に書いた作品と最後の授業で書いた作品を比べて、文字のバランスや大きさなどが上達した」「自分で書くことによって、より仮名文字に関する知識が増えました」「楽しく文字について学ぶことができました」「変体仮名により詳しくなった」「前より変体仮名が読めるようになった」「和歌・書に対する知識が深まった」「有意義な時間を過ごすことができた」「文字を書くことを楽しむようになった」「楽しく学べた。少し読めるようになってうれしい」「字及び姿勢が美しくなった」以上。 問題点としては、仮名に関する基本的な知識についてまだ不十分なところがあり、より丁寧に個別に説明する機会を設ける必要性を感じた。また、基本的な練習量がまだまだ足りない。姿勢や用具の扱い方などについても正しく指摘して、学修効果を高めるよう心がけたい。
上代中古文学研究 g	山口 一樹	授業アンケートから、本科目にて設定していた到達目標はおおむね達成できていたと考えられる。アンケート項目のうち、Ⅱの9「板書やパワーポイント、配布資料はわかりやすかったですか？」は、他の項目よりも低い評価であった。今後、板書に関しては、履修者の写しやすくなる内容になっているのかよく注意したいと思う。配布資料も、履修者が後からみて理解できるような内容にすることを心掛けたい。なお、本科目では、各回においても、コメントシートを利用して履修者から要望等を募った。寄せられた意見は授業の改善に多いに役立った。履修者各位の協力で感謝申し上げます。

[2019（前期）国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
仮名書法 1	伊藤 文生	<p>例年と特に変わったことは無く、概ねまじめに取り組んでいたと言える。授業最終回に記入提出していただいた受講生各自の自己評価および感想を見ると、おおよそ以下のとおり。</p> <p>「最初の授業の時に書いた作品と最後の授業で書いた作品を比べて、文字のバランスや大きさなどが上達した」「自分で書くことによって、より仮名文字に関する知識が増えました」「楽しく文字について学ぶことができました」「変体仮名により詳しくなった」「前より変体仮名が読めるようになった」「和歌・書に対する知識が深まった」「有意義な時間を過ごすことができた」「文字を書くことを楽しむようになった」「楽しく学べた。少し読めるようになってうれしい」「字及び姿勢が美しくなった」</p> <p>以上。</p> <p>問題点としては、仮名に関する基本的な知識についてまだ不十分なところがあり、より丁寧に個別に説明する機会を設ける必要性を感じた。また、基本的な練習量がまだまだ足りない。姿勢や用具の扱い方などについても正しく指摘して、学修効果を高めるよう心がけたい。</p>
上代中古文学演習 e 1	山口 一樹	<p>アンケート結果より、本科目にて設定していた到達目標は、おおむね達成できたと考えられる。項目のうち、Ⅱの9「板書やパワーポイント、配布資料はわかりやすかったですか？」は、他より低い評価となった。本科目では、履修者の発表に移る前に、講師から発表方法についての説明を行った。工具資料や参考文献のリスト等を配布したが、それらの内容がやや分かりにくかったように思う。後期の初回にて、改めて発表方法については解説する予定である。その際、前期で解説した内容も改めて確認したい。また、資料の内容も、履修者にとって分かりやすいものになるよう改善したい。なお本科目は、履修者の発表を中心とする演習科目であったが、各位の協力により、当初の発表予定をすべて終えることができた。未発表者も、皆レポートを執筆している。後期では、履修者全員が発表する予定である。より良い発表が行えるようサポートしていきたい。</p>
中古文学基礎演習 1	山口 一樹	<p>アンケート結果から、本科目の到達目標はおおむね達成できていたと考えられる。項目のうち、Ⅱの6「各回の授業の進むスピードは適切でしたか？」が、他より低い評価となった。本科目は、パソコンの利用に苦手意識を持つ学生を対象としている。したがって、授業は遅く進行するよう心掛けていた。だがそのために、比較的習熟度の高い履修者にとっては、手持無沙汰な時間を生んでしまっていたように思う。あるいは、授業の進度を早く感じる者がいたかもしれない。後期は、エクセルやパワーポイントのほか、データベースの実習を行う予定である。前期にコメントシートで聞き取った限りでは、苦手意識や不安を覚える履修者が多くいることが分かっている。そのため前期と同様に、授業進度を遅くし、丁寧に解説していきたいと考えている。履修者の意見をよく聞き、進度が早くないか、あるいは遅すぎないか、検討していきたい。</p>
古典文学基礎講読 a	越後 敬子	<p>大学に入学して、いきなりの変体仮名にとまどった学生さんも多いかもしれませんが。授業中にもよく話しましたが、変体仮名を読めるようになる近道はなく、一文字一文字ひたすら読むしかありません。少し読めるようになると、変体仮名読解が楽しくなると思います。後期もがんばりましょう。</p>
近現代文学史 a	井原 あや	<p>本授業は、近現代の文学史を考える際になぜ男性作家の名前や作品ほど、女性作家の名前や作品を挙げることが出来ないのかといった点を糸口に、女性作家に光を当て、小説を読解・分析しつつ、彼女たちがいかに文壇に向き合おうとしたのか、ジェンダーの視点から検討することを目指した。</p> <p>アンケート結果を確認すると、自由記述欄も含め概ね良好な回答が得られたので、授業目的や問題意識は受講者と達成・共有することができたと思われる。授業では、受講者自身が主体的に授業に参加できるよう、グループディスカッションを取り入れ、受講者同士で意見をまとめる時間を設けたほか、要点をまとめたプリントを配布して理解の深まる授業となるよう心掛けたが、そうした授業作りが、自由記述欄の近現代文学と女性作家の関係について理解が深まった等の意見に反映されているように思う。今後も受講者たちの興味関心に沿いつつ、学ぶ意欲を伸ばす授業作りを行いたい。</p> <p>ただ、反省すべき点もあり、自由記述欄にテスト中のアナウンスの声が大きく気が散るという意見があった。教室には時計がなく、近年は腕時計を身につける履修者もそれほど多くないので、そうした点を補うためにテストでは終了10分前以外にも時間経過を伝えるということをし、授業中、テスト説明の際に何度か伝えていた。実際のテストでは終了時間10分前以外に2度ほど時間経過を伝えたが、気が散る履修者がいたようなので、今後気をつけたい。</p> <p>課題も提出日までに忘れずに取り組み、グループワークでも率先して意見交換を行う、意欲的な方々の多い授業でした。作家たちの〈書く〉ことへの向き合い方や、表現方法など、毎時間皆さんと理解を深め合える授業だったと思います。前期の間、ありがとうございました。</p>

[2019（前期）国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
近代現代文学研究 e	ブルナ, ルカーシュ	回答率が低いので、次回は最後の授業で、授業アンケートに回答するように、学生に声をかけます。 英語と日本語のテキストを扱う授業なので、じっさいに聞いて難しいところもあったと思いますが、これからも、より分かりやすい説明の仕方を目指していきたいと思います。
近代文学基礎講読 a	ブルナ, ルカーシュ	一年生前期の授業で、現在それほど読まれていない、知られていない作家宮本百合子を取り上げて、かなりハードルが高かったと思いますが、授業中の反応やレポートの内容をみて、みんな熱心に考えていることを実感できました。
近代現代文学研究 g	井原 あや	本授業は、田村俊子という女性作家に注目し、その表現方法を学ぶとともに、近代文学とジェンダーの関係や、田村俊子の小説、および作家に対する評価の背後にある社会規範や構造を読み解くことを目的としたものである。 アンケート結果を確認すると、授業全体、および自由記述欄も含め、概ね良好な回答が得られたので、シラバスで示した目的や到達度は受講者と共有・達成できたと思われる。 一方で、授業時間外の予習や復習と授業とがなかなか結び付かないという点は今後検討が必要だと思われる。こうした授業外の時間は、半期間に二度行うテストに向けて、各自プリントやノートの見直し、論点の整理等にあててもらえればと思ったが、それ以外にも、学生たちの興味や関心を学ぶ意欲へと結び付けられるよう、同時代の女性作家の小説や女性雑誌などを紹介し、興味や関心の幅を伸ばし広げることを心掛けたい。 田村俊子という女性作家の書く短編小説に注目して、その多彩な表現方法や、女性作家をめぐる評価・流通等を考えた時間となりました。途中、グループディスカッション等も取り入れましたが、皆さんが意見を出し合い、意見を聞き合う姿勢は、私自身大変勉強になりました。自由記述欄を拝見したところ、ジェンダーの視点で読み解く意味や、表現の面白さ等に興味を持ってくれた方が多かったようで、私も皆さんと一緒に学びながら進む授業となりました。前期の間、ありがとうございました。
近代現代文学演習 e 1	棚田 輝嘉	シラバスの内容との一致、進むスピードについて、やや評価が低いのが反省点だと思っています。 本来、1教材1時限、というのが理想なのですが、つい、深堀をしなくなってしまっ、進捗が遅くなります。今年は、1グループ、後期になってしまい、申し訳ないと思います。 もっともっと、近代文学の面白さ、奥深さを伝えられるようにしていきます。 後期は、かなり、アグレッシブになりますよ。
文学散歩プロジェクト	棚田 輝嘉 湯浅 茂雄	非常に高い評価を頂き、ホッとしています。アクティブラーニング科目、として、きちんと結果を出せているのかな。もっとも、授業内容のほとんどは、皆さん自身の演習発表ですから、皆さん自身が、きちんと「講義」できていたということでもあります。 「自己採点」が、⑤より④の方が多いのですが、謙遜する必要がありませんよ。よくやったし、よく歩いた。これからも、文学散歩を楽しんでください。
上代中古文学演習 d 1	池田 三枝子	75%が事前事後学修2時間以上であるのはとても良いことだと思います。授業中にもその成果が見え、大変活発に討論がおこなわれていました。後期の上代中古文学演習d2では、質疑応答の時間が更に長くなるので、討論の質とその結果としてのレポート質とを全員で高めて行きましょう。
特殊演習 1	福嶋 健伸	「とても熱心に指導していただけるので卒業論文に対して自分も熱心に取り組めるようになりました。ありがとうございます。」「卒業論文の完成へ一歩ずつ近づいていくことを実感できました。ほかの方との意見交換によって新たな視点が見つかるのも刺激的でした。」等の肯定的なコメントばかりであり、卒論自体も順調であるので、授業はうまくいっていると判断できる。改善点も指摘されていないので、このまま授業を進めたいと思う。